

回答書

令和 7 年 7 月 10 日

業者各位

大津市公営企業管理者

質問書の提出がありましたので、下記のとおり回答します。

記

入札日時 令和 7 年 8 月 1 日 9 時 30 分
品名 業務系基盤サーバ等一式

	質問	回答
1	業務系基盤サーバ① ハードディスク要件について、仮想サーバである旨の記載がございます。当該記載は、業務系基盤サーバ①および②を仮想マシンとして構成するという意図であるようにも読み取れます。一方で、業務系基盤サーバ①および業務系基盤サーバ②の双方につき、物理筐体であることを前提とした記載であるように見受けられます。この点どのように理解すれば良いでしょうか。	当該業務系基盤サーバについては、サーバ物理筐体が2つ(業務系基盤サーバ①、業務系基盤サーバ②)に、Hyper-V機能にて4つのサーバを仮想化する予定です。
2	項番1に関連し、上記理解で正しい場合、仮想基盤を構成する仮想化OSおよびHWに関する要件につき記載がございませんが、この点につきどういった仕様に基つきご提案すれば良いでしょうか。	Windows Server OSの標準機能であるHyper-Vの機能にて仮想化を実現する予定であり、指定しているWindows Server OSで提案願います。
3	同じくハードディスクにつき、RAIDおよびホットスワップに関する要求仕様につき記載がございません。提案者が自由にRAID構成を考案し提案する形で問題ございませんでしょうか。	基本仕様としてRAID構成は必須としますが、RAIDレベルについては提案者から自由に提案を受けたいと考えております。参考として現状はRAID1にて構成しています。
4	業務系基盤サーバ① 無停電電源装置につき、「PowerChuteで制御できること」との記載がございますが、PowerChuteは物理環境対応のライセンスをご指定です。一方で、ハードディスク要件欄に「仮想サーバであるため」との記載がございます。この点どのように理解すれば良いでしょうか。	当該業務系基盤サーバについては、サーバ物理筐体が2つ(業務系基盤サーバ①、業務系基盤サーバ②)に、Hyper-V機能にて4つの仮想化環境を構築する予定です。現時点の構成上、「PowerChute」については当該業務系基盤サーバ全体で、仮想ライセンス、物理ライセンスが一つづつあれば問題ありません。
5	業務系基盤サーバ① 保守要件欄に「サーバ機器・OSについては、5年保守パック(24時間365日、当日訪問修理対応、仮想化対応)とし」とありますが、一般的に仮想化OSに対する保守はサーバの標準的な保守サービスの範疇外となっているものと存じます。仮想化対応の保守パックとはたとえばどのようなものを想定されていますでしょうか。対象の仮想化OSを含め例示頂けますと幸いです。	ハード保守に加え、サーバOSやHyper-V仮想環境のサポート、予防保守や定期点検、サポート情報(BIOS、ファームウェア最新版情報等)の提供等を含めた保守パックを想定しています。
6	業務系基盤サーバ① ハードディスク要件欄に「BC-SATA」との記載がございますが、主に富士通社製品で利用されている用語であり、一般的な規格を指すものではないと理解しております。この点につき、要求仕様としてはBC-SATAに特定する意図ではなく、一般的な規格を満たす限り他社製品の提案も可能であると理解してよいでしょうか。	24時間365日運用を想定し、Hyper-V仮想環境に対応するものであれば問題ありません。